

## 担い手確保・経営強化支援事業成果目標の達成状況等について

平成30年度に事業を実施した1地区の成果目標に係る令和2年度の達成状況は以下のとおりです。

(単位:経営体、%)

成果目標項目	令和2年度に左記成果目標項目を達成すべき経営体数等	令和2年度の目標経営体数等		令和2年度の達成状況(%)
		令和2年度に目標を達成した経営体数等		
必須目標	① 付加価値額の拡大		-----	-
	② 売上高の拡大	3	$\frac{3}{1}$	33.3%
	③ 経営コストの縮減		-----	
選択目標	④ 経営面積の拡大	3	$\frac{3}{2}$	66.7%
	⑤ 農業の6次産業化		-----	
	⑥ 農産物の高付加価値化	1	$\frac{1}{1}$	100.0%
	⑦ 経営の効率化		-----	
	⑧ 耕作放棄地の解消		-----	
	⑨ 農業経営の複合化		-----	
	⑩ 農業経営の法人化	1	$\frac{1}{1}$	達成
	⑪ 雇用		-----	

## 達成状況に関する本町の対応

売上高の拡大については、昨年は気候の変動が激しく、キャベツ産地間の収穫時期が集中し、相場が激しく低下したため売上高を確保することができなかった。また、台風等による被害が少なく産地全体的に豊作であり、受け入れ先がキャベツの飽和状態に近かったこと、コロナ禍の影響により飲食店等への受け入れが低下し、出荷量が制限されたため達成には至らなかった。今後も他事業者との競合が見込まれるため、実需者ニーズに即した品質の栽培を目指し、虫食い、病気、腐敗等には細心の注意を払い、夏から秋にかけての防虫、防疫等を怠らないように指導を行った。

経営面積の拡大については、作業の効率化を図り、農地の集約化を検討中であるが、コロナ禍の影響により、飲食店等への受け入れが低下し、経営規模を調整中であるため、目標達成には至らなかった。

現在、近隣の農地所有者と賃貸借の交渉中であった。他にも、南知多町農業委員及び工区長への相談を促し、農地の確保に努めるように指導を行った。

また、農業経営相談所等を通じて、専門家から経営及び栽培管理の見直しを行うための指導等を受けるように促した。